

持続可能な観光産業へ ユニバーサルツーリズム(UT) が果たす役割

Imagine

10年後・・20年後の日本社会

神戸ユニバーサルツーリズムセンター(NPO法人ウィズアス)
NPO法人日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワーク
代表理事 鞍本 長利

SDGs

持続可能な開発のための17の目標

- 目標1 貧困をなくすこと
- 目標2 飢餓をゼロにすること
- 目標3 すべての人に健康と福祉をもたらすこと
- 目標4 質の高い教育の普及
- 目標5 ジェンダー平等を実現すること
- 目標6 安全な水とトイレの普及
- 目標7 手ごろな価格のクリーン・エネルギーの普及
- 目標8 デイセントワークと経済成長を両立させること
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくること
- 目標10 人や国の不平等をなくすこと
- 目標11 住み続けられるまちづくり
- 目標12 責任ある消費と生産
- 目標13 気候変動に具体的な対策をとること
- 目標14 海の豊かさを守ること
- 目標15 陸の豊かさを守ること
- 目標16 平和、正義と充実した制度機構
- 目標17 パートナリシップで目標を達成すること



持続可能な社会・・・

社会という言葉を他の言葉に置き換えると・・・

- 持続可能な自然環境
- 持続可能な食環境
- 持続可能な教育
- 持続可能な住環境などなど

持続可能な社会 → 産業の技術革新

- 持続可能な観光・観光産業？

その背景を観る、知る。



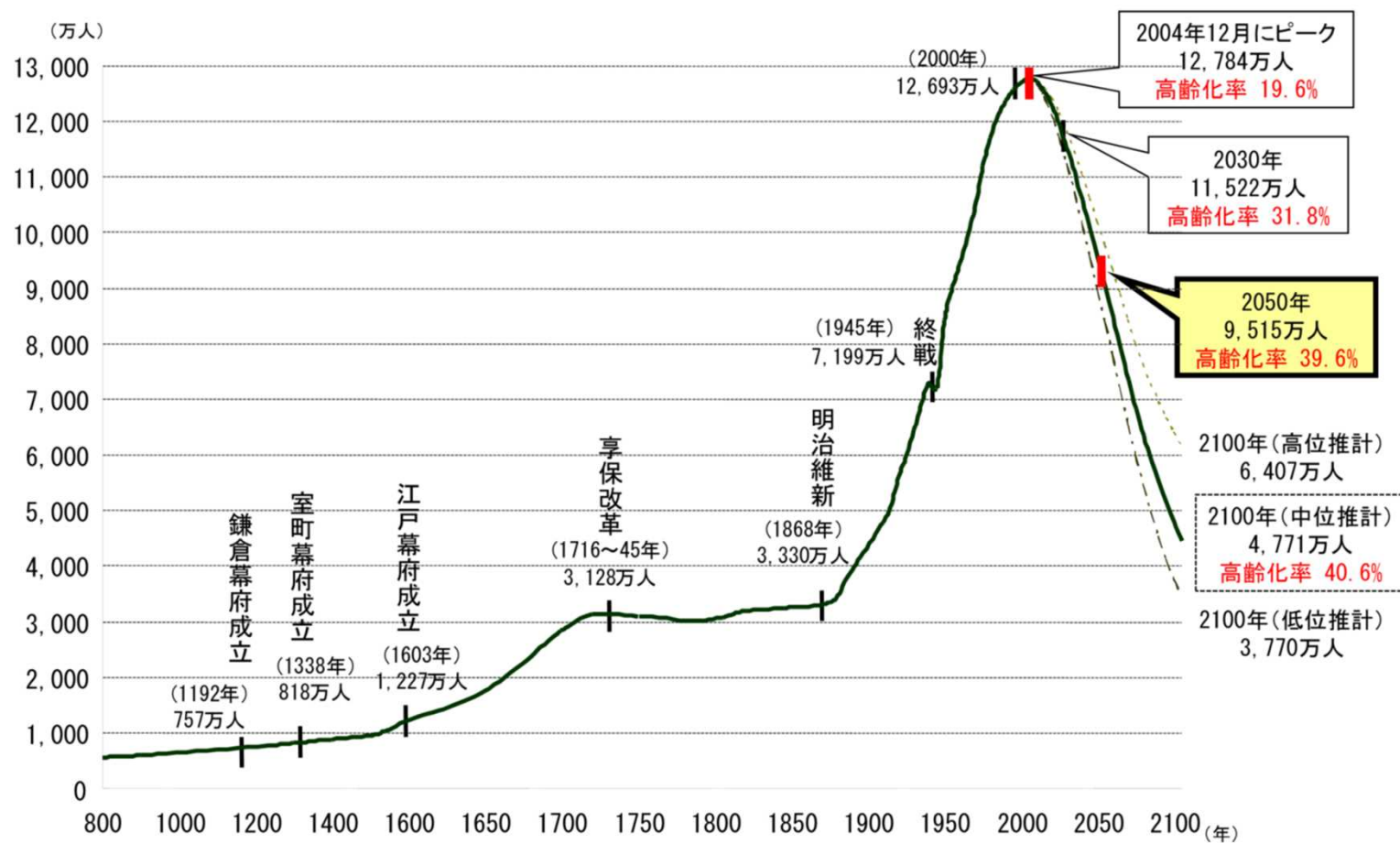
《背景－1》

少子高齢化を迎える私たちの社会

- 日本総人口 1億2,642万人 (126 million) 平成30年12月1日 内閣府
- 65歳以上 3,515万人 (日本総人口の27,7%)
(男性1,526万人 女性1,989万人)
- 日本全国における要介護(要支援)者65歳以上の者の要介護者等数は増加。特に75歳以上で割合が高い
- 要介護又は要支援の認定を受けた人(介護保険制度)
平成27(2015)年度末で606.8万人
平成15(2003)年度末(370.4万人)から236.4万人増加。
- 障害者白書(平成30年度 内閣府)
身体障がい児・者⇒436万人
知的障がい児・者⇒108万人
精神障がい者 ⇒398万人

《背景-2》

日本人口の推移



《背景-3》

移動出来ない社会が生み出す様々な問題

高齢社会の中で、多くの人たちが今後抱える問題

- ⇒何らかの障がいがあるために外出しない、できない
- ⇒障がいがあるために旅に行かない、できない
- ⇒ひきこもる(運転免許の返納)
- ⇒地域産業の衰退

※ コロナ禍の中で観えてきた様々な問題と同じ

人が移動しない、できない社会が生み出す問題

- ⇒多くの企業の収益の悪化
- ⇒特に観光産業に依存している地域産業の収益減
(宿泊・移送サービス・観光・飲食関係事業所)
- ⇒地域産業の衰退



ツーリズム＝観光

- ⇒学 ぶ 歴史・文化など
- ⇒体験する 創る・食べる・飲む
乗馬・スキー体験など
コンサートなど
- ⇒観 る 景観・建築物
絵画鑑賞・演劇など

ユニバーサルツーリズム(UT) のキーワード

- ・高齢の人たちも
- ・障がいのある人たちも
- ・日常的に介助する人たちも
(親・きょうだい・友人など)

いっしょに旅・滞在を
楽しむ！！



バリアフリーツーリズム ＝行政指導型

- 車いす対応エレベータ・手すり・スロープ
オストメイト対応トイレ
筆談ボードなどの設置
(行政が一部を補助、改装にかかる費用の全額補助ではありません。)
- ユニバーサルツーリズムに取り組みを神戸からスタートし
16年が過ぎています。
観光庁も数年前にこの言葉を使うようになりました。

現在はこの取り組みが、全国の26か所に広がり
NPO法人日本ユニバーサルツーリズム推進ネットワークを
設立し、神戸UTセンターがその事務局を担っています。

ユニバーサルツーリズム(UT) ＝民間指導型

- 地域の人や企業が、これからの高齢社会を見据えたうえで、私たちの町に必要な取り組み
- 《あったらいいのに！》という活動を行政が後方支援する取り組み
- 地域の人たちや企業などが、高齢化社会を迎える5年10年先を考え、地域の様々な人たちがその気になりはじめて広がっていく取り組み
- ユニバーサルツーリズムは
地域の観光・宿泊・移送サービス・医療福祉の関係機関
・行政・地域の人たち等の協力が不可欠な取り組み

高齢者・障がい者が旅・滞在で 今！抱える問題を観る

問題⇒移動介助、入浴介助、排泄介助、食事介助など

【今までの解決策】

介助者を発地(居住地)から同行する今までの旅

【新たに発生する問題】

- 旅には膨大な費用が発生
(介助者への人件費・交通費・宿泊費)
- 同行する介助者に対する精神的な負担
- いっしょに楽しめない旅・滞在
- 旅することを諦める⇒移動しない社会



スロープと手すりの先にある ソフト面の充実(UT)が不可欠

『イメージしましょう』

- 車いすを利用する夫と、介助する妻の二人旅
 - 全盲の妻と介助する夫の二人旅
- 宿の露天風呂には、エレベーター有、手すりとスロープも有り
- ・ 車いすのまま露天風呂へ・・・大浴場の男湯？女湯？
 - ・ 全盲の妻を介助して・・・大浴場の男湯？女湯？

★ ???

⇒温泉につかることを諦め、部屋の風呂で介助する
⇒旅することを諦める

日常的に介助する人たち(親・きょうだい)が
いっしょに楽しむ旅を創り出すために・・・^⑪

ユニバーサルツーリズムの取り組み 《民間指導型》

- 高齢の人たち
- 障がいのある人たち
- 日常的に介助する人たちが
一歩外へ踏み出す時に抱える問題を解決できる
取り組み

(移動、入浴、排泄、食事介助など)

あったらいいな！！を
訪れた町の地域ネットワークで
創り出し解決すること

地域のUTのネットワークとは・・・

宿泊、観光、移送サービス事業所
医療・福祉関係事業所
行政機関・教育機関
飲食サービス事業所
地域社会との連携

《地域のハード面の整備とソフト面の充実》

○UTは、どれ1つ欠けても成立しない



ハード面とソフト面の充実が 創り出す笑顔

- 安心安全の笑顔
- いっしょに旅を楽しむ笑顔
- より安価な旅が創り出す笑顔

高齢者・障がい者にとって

安心安全な町 ⇒もう一度訪れたい町

⇒持続可能な社会への取り組み



Imagine

10年・20年後のあなたの町と社会

企業の視点

- + 障がい当事者の視点
- + 日常的に介助する人たちの視点

＝ユニバーサルな社会

- ⇒イメージ 【想像】
- ⇒デザイン 【計画】
- ⇒クリエイト 【創造】



ユニバーサルツォーリズム
(UT)の数式？

$$5 - 1 = 0 ?$$

$$20 - 1 = 0 ?$$

$$20 = 1 ?$$



ユニバーサルツーリズム

- 人と人が支え合うまち
 - 人と企業が支え合うまち
 - 企業と地域社会が支え合うまち
- ⇒ 地域内に新たなソーシャルビジネスを
創り出す取り組み

＝ 持続可能な観光産業

